令和6年度業務実績に関する評価 (項目別評価シート)

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和6年度 業務実績評価

評価基準「S」:計画を大幅に上回っている「A」: 計画を上回っている「B」: 計画に概ね合致している「C」: 計画をやや下回っている「D」: 計画をやや下回っており、大幅な改善が必要

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価	設立団体によ		設立団体による評別	Ē	前年度 計画 法人にお
中郊計画(日和0年度・日和3年度)	17和0千度計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己 評価
第1 中期計画の期間							
令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間とする。							
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療ニーズの変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。	もと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療ニーズの変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や						
(山形県・酒田市病院機構 基本理念) 思いやりの心を大切にします。 質の向上に努め、安全な医療を提供します。 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。	(山形県・酒田市病院機構 基本理念) 思いやりの心を大切にします。 質の向上に努め、安全な医療を提供します。 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。						
1 医療機能の分化・連携の推進							
	な医療機関として、地域医療連携推進法人「日本海へルスケア ネット」への参画等により地域の医療機関等との機能分担・連	*地域医療連携推進法人「日本海へルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等の取り組みを通して、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。 【実績】日本海へルスケアネット内の人事交流 出向元 出向先 職種 人数 備考 平日診療 傷寒機構 角院機構 健友会 病院機構 維和会 医師 5名 透析室 第院機構 宏友会 病院機構 強友会 病院機構 選和会 9名 木・土の宿日直、在宅往診の応援 1名 外来応援(毎週木曜日の午後) 整像所機構 第次章 4名 診療所、老健 1名 手術室 2名 心臓リハビリ研修 無利院機構 健友会 病院機構 第次会 4名 診療所、老健 1名 手術室 2名 心臓リハビリ研修 無利に等別の見入を引き続け、事務 1名 に融リハビリ研修 第院機構 原金 診療放射競技師 1名 中職者の関係を引力の容・各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施 「施設見学を通じた顔の見える関係作り」内容・各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施 「元動項目 活動内容 令和6年5月24日開催 場所・養護老人ホームかたばみの家 令和6年5月24日開催 場所・養護老人ホームかたばみの家 令和6年5月24日開催 場所・養護老人ホームかたばみの家 会和6年5月24日開催 場所・養護老人ホームかたばみの家 会和6年5月24日開催 場所・養護老人ホームかたばみの家 会和6年5月24日開催 場所・表記として、課題について意見交換を実施した 「この地域を感染から守る」内容・感染症対応等、タイムリーに情報交換し、感染拡大を防止する 「北庄内地域の食支援の質の向上」内容・誤解性肺炎の知識・技術を修得し、実践することで、誤解性肺炎が減少する 「実験】日本海へルスケアネット介護の甲キング 「外護報酬の全を登上算に込められたねらい」令和6年4月26日開催『たようかいネットの概要について』 今和6年4月26日開催『たようかいネットの概要について」令和6年4月26日開催『たようかいネットの概要について』 令和6年10月17日開催『介護報酬の全を登上簿に込められたねらい』 今和6年4月26日開催『たまうかいネットの概要について』 令和6年4月26日開催『たまうかいネットの概要について』 令和6年10月17日開催『介護を開催令を関係といて』の第27年を開催を開催令が過年4月26日開催『たようかいネットの概要について』 中間 17年間 17年間 17年間 17年間 17年間 17年間 17年間 17年	S	S	自己評定のとおり	S	S

	由期計画/	令和6年度 [,]	↓ 会和0:	午 使)			令和6年度計画				法人における自己評価			設立団体		Ē	前年度 計画 法人にお
	〒粉前四(口作以开及"	- т <i>ү</i> цэ.	十汉/				17HV千反引圏		計画の実施	及び業務運営の状況、自己評価の理由等]	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	- 法人に ける自己 - 評価
2 持続的•安	定的な医療	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	医療水	準の向」	Ł												
(1)高度専門	¶医療·回復	期医療等σ	充実∙強	化													
として、ハイ: 治療の充実: こ取り組む。 入退院支 地域の他の! 在宅や介護! の実現を目!	日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関 ① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関して、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線療の充実等、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供 治療の充実等、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供			室の手術件数が164件、ロボット支援手術の件数が152件、放射線治療件数が5件と高度専門医療の充実を図るとともに、併せてDPC特定病院群の適用維持に医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組た。 ・入退院支援センターの活用や、地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の				510 3 はる ・ 舌	S	自己評定のとおり	Α	A					
			・ 和フ年度	全和0 年度	e Affio 年度	l — — —			I	目	概要						
許可病床数 一般病床の 機能別内訳	一般病床 病床廃止 感染症病床 合計 高度急性期 急性期	626床 △40床 4床 590床 123床 463床 - 586床	586床 - 4床 590床 123床 463床 - 586床	586 F 4 F 590 F 123 F 463 F 586 F	ま 586床 - 4床 ま 590床 ま 123床 ま 463床	許可病床数	一般病床病床座。	626床 △40床 4床 590床 123床 463床 — 586床	許可病床数 - 一般病床の 機能別内訳	一般病床病床座。	626床 △40床 4床 590床 123床 463床 - 586床						
診療材	卷能等	・救命救急セン・地域医療支援・地域がん診療・災害拠点病院・へき地医療拠・認知症疾患医・臨床研修病院・協議・	病院 連携拠点病 点病院		Ľ	診療	機能等	・救命教急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・ でき地医療拠点病院 ・ 認知症疾患医療センター ・ 臨床研修病院		機能等	 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など 						
(注)許可病床数	女については、症	病床規模の適正 ⁶	上等により変	変更する場合	合がある。	(注) 許可病床	数については、タ	, 病床規模の適正化等により変更する場合がある。			病床規模の適正化等により変更する場合がある。						
		中期計画策定時		込みであり、		l		年度計画策定時点での見込みであり、			は年度計画策定時点での見込みであり、 ************************************						
【目標】日本	海総合病院 する指標		票値	<u> </u>		【目標】日:	本海総合病防 とする指標	とは一致しない場合がある。 日標値 2,600件以上	【実績】 平均在院日数 病床稼働率 ・目標とする全 【実績】全身手行 目標値	分 (身麻酔手術作	年度 令和7年度 令和8年度	11.7日 81.2%					

	中期計画	ī(令和6年度	~令和9	年度)			法人令和6年度計画		法人における自己評価					設立団体による評別	È .	前年度 計画 法人にお
									【計画の実施	恵及び業務運営の状況、自己評価の理由等】		自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	
期医療を担 DL(日常生 供する。慢慢	う。回復期 活動作)の 生期医療で	医療では、在 向上を目的と	宅復帰に としたリハ ったり療養	こ向けた医 ビリテー:	医療及びA ションを提	期医療を担う。回復期日 DL(日常生活動作)の「	医療では、在宅復帰に向けた医療及びA 向上を目的としたリハビリテーションを提 よ、長期にわたり療養を必要とする患者	療では、在宅 ビリテーション 重度障がい	後帰に向けた シを提供し、惨 者等の受入れ	ション病院は、回復期医療と慢性期医療を担 と医療及びADL(日常生活動作)の向上を目 性期医療では、長期にわたり療養を必要とす を行った。 マョン病院(令和6年4月1日現在)	的としたリハ	S	S	自己評定のとおり	S	S
◆日本海酒田	リハビリテーシ	/ョン病院(令和6:	年4月1日現	(在)		◆日本海酒田リハビリテーショ	ン病院(令和6年4月1日現在)	I	項目	概要]					
項	目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	項目	令和6年度	許可病床	療養病床	114床						
許可病床数	療養病床	114床	114床	114床	114床	許可病床数療養病床	114床	計り病体	会計	114床]					
計り柄体数	合 計	114床	114床	114床	114床	合計	114床		回復期	79床						
	回復期	79床	79床	79床	79床	回復期	79床	療養病床	の慢性期	35床						
療養病床の		35床	35床	35床	35床		35床	機能別内	訳 休床	_						
機能別内訳	休床		_		_	機能別内訳 休床	-	」		114床						
		114床	114床	114床	114床		114床]		・回復期リハビリテーション						
		回復期リハビ	リテーション	,			・回復期リハビリテーション		療機能等	・在宅重症難病患者一時入院機能						
診療	機能等	•在宅重症難病	病患者一時 <i>入</i>	\ 院機能		診療機能等	•在宅重症難病患者一時入院機能			・臨床研修病院など						
		• 臨床研修病院	ŧ	など			・臨床研修病院など			、病床規模の適正化等により変更する場合がある。						
(注)許可病兒	F数については	、病床規模の適正	正化等により	変更する場合	合がある。	(注)許可病床数については、	病床規模の適正化等により変更する場合がある。			は年度計画策定時点での見込みであり、						
		は中期計画策定		込みであり、			は年度計画策定時点での見込みであり、			・数とは一致しない場合がある。 リニー・ション、中は七米のロセスは、マルマは、-	노름다 나다고					
各年度の病 	床機能報告数	てとは一致しない場	帚合がある 。			当該年度の病床機能報告数	女とは一致しない場合がある。	・日 様と する ことができた		リテーション実績指数の目標値については、ス	人幅 -工凹の					
【目標】日本	海酒田リハ	ゴリテーション症	<u> </u>			 【目標】日本海酒田リハb	ブリテーション病院			ョン実績指数(日本海酒田リハビリテーション病院)		1				
	目標とす	よる指標 あんしょう		目相	漂値	目標とする指		目標値		6年度 令和7年度 令和8年度	令和9年度	.				
回復期リハヒ	<u>゙</u> リテーション	/実績指数		毎年度4	10点以上	回復期リハビリテーション		40点以.	上 49.7点			-				
						<u> </u>								I.		

内如弘西(今和6左连, 今和6左连)	A.fine左连⇒im	法人における自己評価			設立団体による評		前年度計画
中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画 	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	- 法人にお ける自己 評価
る唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への討		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】 ・日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療	自己評定 A		1	前年度計画の類	法人における自己
		区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 延外来患者数 111名 88名 95名 — 1日平均外来患者数 2.9名 4.4名 6.3名 — ※令和6年度受診希望者なし 【実績】飛島診療所 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 延外来患者数 458名 422名 401名 394名 1日平均外来患者数 2.6名 2.7名 2.7名 3.2名					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評	定	前年度 計画 法人にお
中朔时国(日和0千度 日和5千度)	17410千度計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
ア 診療体制の充実							
(ア)救急医療							
庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努めるとともに、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、一次救急医療体制を支援する。	頼される救急医療の提供に努めるとともに、一般社団法人酒 田地区医師会十全堂と連携を図り、一次救急医療体制を支援 する。	・庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される医療の提供に努めた。また、救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、高度な処置が必要となる重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での一次救急診療については、一般社団法人酒田地区医師会十全堂所属の医師が担当し、夜間救急の診療体制を維持した。 【実績】救命救急センター延べ患者数(日本海総合病院)	S	S	自己評定のとおり	A	A
【目標】日本海総合病院 目標とする指標 目標値 地域救急貢献率 毎年度32%以上 (注)地域救急貢献率=(救急車来院患者数/二次医療圏内(庄内地域)救急車搬送人数)×100	【目標】日本海総合病院 目標とする指標 目標値 地域教急貢献率 32%以上 (注) 地域教急貢献率=(教急車来院患者数/二次医療圏内住内地域教急車搬送人数)×100	【実績】教急車の搬送数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 酒田地区 医療機関への搬送数 計 5,106名 5,418名 6,001名 5,741名					
		救急搬送受入要請の応需率 100%					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評別	定	前年度 計画 法人にお
中朔計画(市和0平度で市和9平度)	TANO平度計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
(イ)がん医療							
	び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、より適切ながん医療を提供するため、キャンサーボードを定期的に開催する。	 ・地域がん診療連携拠点病院として、手術や放射線療法、化学療法等の集学的治療を継続して行った。 ・放射線療法においては、より適切で効果的ながん医療の提供により、強度変調放射線治療(IMRT)、定位放射線治療(SRT)といった高度な治療を行った。 ・外来での化学療法治療の質の向上に努め、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の保険薬局の薬剤師等を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備した。 【実績】手術、放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院) 【実績】手術、放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院) 【実籍】手術、放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院) 【実籍】事務(放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院) 【実籍】事務(放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院) 【実籍】事務(放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院) 【実籍】中域、大学、大学療法件数(日本海経合病院) 【実籍】地域の保険薬局薬剤師を対象とした研修会の実施(日本海総合病院) 【実籍】地域の保険薬局薬剤師を対象とした研修会の実施(日本海総合病院) 「実施日」連携充実加算に伴う研修会「「地・名/15件」を持定、対する副作用と対策」他等の場合・利は手による検討を行うキャンサーボードを定期的に開催するとともに、がんゲノム医療を提供するために山形大学医学部附属病院腫瘍内科医師を招集し他職権による検討を行うキャンサーボード支線(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 21回数 25回 25回 272 金別・がんゲノム医療連携病院として、遺伝子パネル検査を継続して行い、一人ひとりに適した治療法の提案に努めた。 【実績】遠伝子パネル検査を継続して行い、一人ひとりに適した治療法の提案に努めた。 【実績】がん相談支援センターにおいて、がんの治療、セカンドオピーオン、在宅療養、医療費などについての相談に応じ、がんの治療にかかわる不安や悩みの解決をサポーレた。 【実績】がん相談中数(日本海総合病院) 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 1307件 ・必利報を育 令和4年度 令和5年度 令和6年度 11,307件 ・適切な緩和ケアの早期提供のため、緩和ケアスクリーニングを行い、緩和ケア医療の充実に努めた。 「実績」がん相談中数(日本海総合病院) 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 1,308件 1,384件 1,426件 1,307件 	A	A	自己評定のとおり	前は、「大人」	日価日本
		【実績】緩和ケアスクリーニング実施件数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 入院 4,300件 4,368件 4,297件 4,624件 外来 671件 658件 633件 715件 ・医師及び多職種に対する緩和ケア研修会を開催し、緩和ケア医療提供の体制強化に努めた。 【実績】がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 受講医師数 112名 104名 101名 112名					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評定			
中朔部 画(节和0年度)	では、中央計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	法人に ける自己 評価	
	③ がん対策の進展に貢献するよう、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。	・がん対策の進展に貢献するよう、中級認定者を専従として1名、初級認定者を専任として1名配置し、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。 【実績】がん登録件数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 対象年 2020年症例 2021年症例 2022年症例 2023年症例 院内がん登録 1,881件 1,961件 1,954件 2,005件 全国がん登録 1,891件 1,969件 1,964件 2,013件 住内地域院内がん登録合計※ 2,368件 2,892件 2,855件 2,870件 住内地域での日本海総合病院の割合※ 79.4% 67.8% 68.4% 69.8% ※国立がん研究センター院内がん登録全国集計から算出						
(ウ)脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患								
① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	- 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努めた。また、継続して休日のリハビリテーションを提供した。 【実績]疾患別リハビリテーション実施状況(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実患者数 回数 実患者数 回数 実患者数 回数 実患者数 回数 医血管 639名 10.849回 638名 9,731回 652名 8,944回 658名 8,578回 【実績]休日のリハビリテーション実施状況(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実患者数 回数 実態者数 回数 生態 に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する	A	Α	自己評定のとおり	A	A	
② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期 医療の提供体制を維持する。	② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期 医療の提供体制を維持する。	・脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、医師・看護師・コメディカルスタッフと連携し、適切かつ速やかな治療を提供した。 【実績】血栓回収療法、t-PA実施件数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和6年度 血栓回収療法 5件 4件 11件 13件 t-PA 26件 18件 24件 28件						
③ 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	③ 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	・酒田及び鶴岡地区管内全ての救急隊に配備されている12誘導心電図伝送システムを活用し、重篤患者の治療を行った。 【実績】12誘導心電図伝送件数(日本海総合病院)						

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評定	3	前年度 計画 法人にお
中河市區(17410平及 17410平及)	17410千及計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
(工)糖尿病							
医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活 習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。	医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。	・医師・看護師・管理栄養士等が協働し、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を継続して行った。	S	S	自己評定のとおり	В	В
【目標】日本海総合病院 目標とする指標 目標値 糖尿病教室 毎年度12回以上	【目標】日本海総合病院 目標とする指標 目標値 糖尿病教室 毎年度12回以上	【実績】糖尿病教室(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 開催回数 10回 13回 3回 15回参加人数 28名 34名 6名 46名 【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実患者数 5名 3名 11名 11名 11名 指導回数 25回 10回 42回 54回 【実績】教育入院患者数(日本海総合病院) 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 239名 217名 156名 94名 【実績】個別栄養指導件数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 239名 217名 156名 94名 【実績】個別栄養指導件数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 入院 2,715 2,462 2,517 2,751 外来 926 970 792 895 外来化学療法 - 135 17 ・目標とする糖尿病教室の開催回数については、大幅に上回ることができた。 【実績】糖尿病教室(日本海総合病院) 目標値 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 12回以上 15回 ○					
地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、	地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療 <u>等、</u> 総合病院として担うべき精神医療を提供する。	・地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への 診療等、総合病院として担うべき医療を提供した。	В	В	自己評定のとおり	В	В
		【実績】他の精神科病院から日本海総合病院に紹介等され入院した患者数令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 51名 64名 84名 66名					
(カ)小児・周産期医療							
① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担	及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児 搬送の受入れを行う。	 ・二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応等、周産期に係る高度な産科医療を提供した。 【実績】母体・新生児救急受入れ患者数等状況(日本海総合病院) 区分令和3年度令和4年度令和5年度令和6年度母体17名10名15名9名新生児10名4名33名1名 緊急帝王切開術33件56件46件38件 	Α	Α	自己評定のとおり	A	A
	② 庄内地域における不妊治療の拡充を図るため、日本海総合病院内に一般不妊治療及び生殖補助医療の提供体制を構築する。	・庄内地域における不妊治療体制の拡充を図るため、日本海総合病院における「生殖医療センター」を開設し、一般不妊治療に加えて庄内地域で唯一となる生殖補助医療の提供体制を構築した。これにより、庄内地域内で高度な生殖医療を受けられる環境の整備が進み、遠方からの通院負担の軽減、妊娠から出産まで一貫した医療提供による患者満足度の向上といった多面的な成果が今後見込まれる。					
		生殖医療センター診療開始日:一般不妊治療 令和7年4月7日 生殖補助医療 令和7年5月1日					
質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合		・産婦人科専門医及び小児科専門医の体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供した。また、三次周産期医療機関との連携を図り、母体・新生児の救急搬送を適切に行った。 【実績】母体・新生児の救急搬送患者数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 母体 7名 12名 7名 10名 10名 10名 10名 10名 10名 10名 10名 10名 10					
		・産後ケア事業において酒田市、遊佐町、庄内町、にかほ市に加え、令和6年度は三 川町とも契約を結び、育児不安を抱える母親等を支援した。					

内坝社两(今和6年度、今和0年度)	◆和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評定			
中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	法人にお ける自己 評価	
(キ)回復期リハビリテーション								
のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、	、 ADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リ	 ○・脳血管疾患や大腿骨頚部骨折等により障がいが生じた患者に加えて、廃用症候群の患者のADL(日常生活動作)を改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供した。 【実績]疾患別リハビリテーション実施状況(日本海酒田リハビリテーション病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 「実患者数 回数 実患者数 回数 実態者数 回数 生きるは長いていていていていていていていていていていていていていていていていていていて		A	自己評定のとおり	A	A	
(ク)在宅医療支援及び療養支援								
① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、関係機関との連携を図り、入院初期から積極的に支援を行う。また、酒田市と連携し、地域における医療及び介護の総合的な確保の推進に努める。	ビスの提供を受けることができるよう、関係機関との連携を図り、入院初期から積極的に支援を行う。 ② 酒田市の在宅医療・介護連携支援室「ポンテ」と連携し、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため、医療機関と介護事業者との連携強化を図る。	・入退院支援センターにおいて、入院前より退院困難な要因の抽出を行い、経済的な問題等があれば、早期に社会福祉士へ情報提供、また、在宅療養への不安がある患者については、入院前から退院支援看護師が介護保険の説明等を行い、不安軽減に努めた。 ・入院後の退院支援においては、入退院支援センターの看護師、医療・福祉センターの社会福祉士が共同し、切れ目なくサービスが受けられるよう、地域の介護・福祉・医療機関等との連携を行った。退院困難の事例においては、多職種によるカンファレンスを行い、患者が住み慣れた地域での暮らし、患者家族が望む退院先を自己決定できるように支援を行った。 ・退院後においても、在宅療養で不安や問題が生じた際には、患者、家族からの相談にも応じ、在宅医や訪問看護、ケアネジャー等とも情報共有を行い、継続した支援を実施した。 【実績】及院前スクリーニング実施件数(日本海総合病院) ・		A	自己評定のとおり	A	A	
行っている診療所等の患者で入院治療が必要となった患者の	行っている診療所等の患者で入院治療が必要となった患者の	・在宅患者が安心して地域で療養できるよう、在宅医療を行っている診療所や介護施設等と連携を図り、入院治療が必要となった患者の受入れを適切に行い、レスパイト入院を行った。 【実績】診療所等からの入院受入患者数(日本海酒田リハビリテーション病院) 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 28名 32名 36名 19名						

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評定	_	前年度 計画 - 法人にお
〒791月121111111111111111111111111111111111	17410千及町口	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	
(ケ)ー次医療とプライマリ・ケアの提供、充実							
されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に 医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医 療機関等に紹介するなど連携を図る。 また、遠隔診療・オンライン診療等の活用を推進し、中山間地 域において身体の状況や交通手段等で定期的な通院が困難 な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的に医療MaaS (Mobility as a Service)による医療提供体制の構築を図る。	置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。 ② 遠隔診療・オンライン診療等の活用を推進し、中山間地域において身体の状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的に医療MaaS (Mobility as a Service)事業の導入を進める。	は・へき地医療等、地域医療の維持・確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図り、医療の提供を行った。 【実績】日本海総合病院への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 日本海八幡クリニック 337件 347件 410件 433件 松山診療所 80件 52件 64件 59件 7件 5件 1件 [実績]日本海総合病院以外への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 日本海八幡クリニック 132件 87件 82件 107件 松山診療所 22件 12件 18件 17件 聚島診療所 22件 12件 18件 17件 聚島診療所 22件 12件 18件 17件 2件 2件 2件 12件 18件 17件 2件 2件 2件 12件 18件 17件 31件 31件 31件 31件 31件 31件 31件 31件 31件 31		A	自己評定のとおり	A	A
イ 高度医療機器の計画的な更新・整備							
ついては、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新・整備	- 療機器の更新・整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新・整備を行う。	・高度専門医療機関等の医療機器の更新にあたっては、整備計画を策定し、それに 従い整備を行った。財源としては起債及び剰余金を活用した。 ・高度医療機器については、デジタルマンモグラフィシステム、内視鏡部門システム、 不妊治療機器、デジタルX線TVシステム等、医療機器整備計画及び利用見込み並 びに収支予測を行い、計画的に更新・整備を行った。		В	自己評定のとおり	В	B

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評別	È	前年度 計画 法人にお
1 初町日(19110年及)	17410千及計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
ウ 災害時への対応							
実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。	を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。また、医療物資備蓄機能等を有する施設の整備について検討する。 【目標】日本海総合病院 日標とする指標 災害等に係る訓練及び研修 日標とする指標 災害等に係る訓練及び研修 4回以上 ② 大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。	・災害拠点病院として機能するよう、動画配信による研修会、トリアージ研修会、机上訓練及び実働訓練を開催し、災害時の対応に備えた。 【実績]災害医療研修及び訓練(日本海総合病院)	A	A	自己評定のとおり	A	A

中期計画(令和6年度~令和9年度)	│ │ │ │ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	法人における自己評価			設立団体による		前年度 計画 法人にお
中期計画(市和0年度~市和9年度)	₽和O平度計画 	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
エ 新興感染症等の健康危機への対応							
対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。 また、新興感染症の感染拡大等の健康危機事象の発生に備え、平時から病床等の確保、感染防護具等の備蓄、院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有、検査体制	に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。 ② 新興感染症の感染拡大等の健康危機事象の発生に備え、平時から病床等の確保、感染防護具等の備蓄、院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有、検査体制の整	・第二種感染症指定医療機関として、結核をはじめとする感染症患者の診療を積極的に実施し実患者数298名受け入れた。 ・感染経路別予防策に応じた対策を行い、適切な入院環境の提供に努めた。 ・山形県と医療措置協定を締結し、第一種協定指定医療機関として、流行初期から患者の入院を受け入れる病床確保や個人防護具の備蓄を実施した。 ・有事に備えて、年間2回の院内感染対策研修会に加え、庄内保健所や鶴岡市立荘内病院と共催で新興感染症等の発生を想定した合同訓練を行った。また、今年度新たに仙台検疫所主催の新型インフルエンザ等対応訓練に参加した。	S	S	自己評定のとおり	S	S
【目標】日本海総合病院	 【目標】日本海総合病院	・ICT(感染制御チーム)及びAST(抗菌薬適正使用支援チーム)主催の感染対策地 域連携合同カンファレンスや保健所主催の庄内AMR(薬剤耐性)等対策ネットワーク					
目標とする指標 目標値	目標とする指標 目標値	への参画により、平時から関係機関と顔の見える関係を築いた。					
新興感染症の発生を想定した研修又は訓練 毎年度2回以上	新興感染症の発生を想定した研修又は訓練 2回以上	【実績】感染対策に係る活動について(日本海総合病院)					
		実施日					
オー政策医療の実施							
① 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。		・認知症疾患医療センターとして、認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑別診断等を実施した。 【実績】認知症疾患医療センター相談件数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 新規 442件 435件 435件 459件 207件 250件 209件 245件	В	В	自己評定のとおり	В	В
② 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に 研修等を実施する。	研修等を実施する。	・脳死下臓器移植について、山形県臓器移植推進機構の協力を得ながら、院内コーディネーターを対象とした脳死下臓器移植等に係る研修を実施した。また、県主催の院内コーディネーター連携会議にも参加した。	Α	Α	自己評定のとおり	А	А
【目標】日本海総合病院	【目標】日本海総合病院 日標とする指標 日標値 脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修 1回以上	【実績】臓器提供シミュレーション等臓器提供に関する研修(日本海総合病院) 実施日 内容 参加人数 令和6年7月5日 他臓器提供施設の取り組みに係る事例研修 10名 ・目標である脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修について、目標値どおり実施することができた。 【実績】臓器シミュレーション等臓器提供に関する研修回数(日本海総合病院) 目標値 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評別	定	│ 前年度 計画 法人にお
中朔計画(节和O牛皮~节和9牛皮)	T 和O 4 及 計 回	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	- 法人に ける自己 評価
(2)医療従事者の確保及び資質向上							
ア 医療従事者の確保・育成							
① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療従事者の適切な人員確保に努める。	① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療従事者の適切な人員確保に努める。	 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師のほか医療職7職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。 【実績】採用者人数(令和6年度採用試験) 職種 受験者数 内定者数 令和7年4月入職数 備考初期臨床研修医 31名 13名 13名 13名 13名 13名 13名 13名 13名 13名	S	S	自己評定のとおり	S	S
② 医師の働き方改革に対応するため、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	② 医師の働き方改革に対応するため、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。						
③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。 【目標】日本海総合病院 日標とする指標 初期臨床研修医マッチング 毎年度フルマッチ (注)フルマッチとは、募集定員に対する充足率が100%であることをいう。	③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。 【目標】日本海総合病院 目標とする指標 初期臨床研修医マッチング フルマッチ (注)フルマッチとは、募集定員に対する充足率が100%であることをいう。	・新専門医制度の下で、基幹施設として研修実施可能な4診療科(内科、外科、産婦人科、麻酔科)及び連携施設(内科、外科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、放射線科、病理診断科)として、多くの専攻医を受け入れ、医師確保に努めた。 【実績】マッチング状況 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 定員 13名 13名 13名 13名 13名 100%					
の充実等に努め、各職種の専門性の向上を図る。また、若手	の充実等に努め、各職種の専門性の向上を図る。また、若手	・教育・研修体制の充実及び自己研鑚・研修のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、外部講師派遣による役職別研修や各部門独自で専門能力を高める研修をした。また、若手の医師臨床研修にかかる指導医講習会の受講者は5名、プログラム責任者養成講習会は1名が受講し修了した。					

中期是两/全和6年度,全和6年度)	△和c左连礼雨	法人における自己評価			設立団体による評別	 定	前年度 計画 法人にお
中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	は 法人に が ける自己 評価
貸与制度を継続して実施する。 ⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師資格及び認定看記	⑤ 看護師や助産師の確保・育成のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。 ⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師資格及び認定看護師資格の新規取得及び看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。 【目標】法人全体 日標とする指標 特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数 中期計画期間中5名以上中期計画期間中5名以上中期計画期間中4名以上	た。さらに、薬剤師の確保を目的として、薬剤師就学資金貸与制度を構築した。 【実績】看護師等修学資金の貸与 区 分	A	A	自己評定のとおり		
イ 事務職員の確保と専門性の向上							
事務局体制強化のため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	子事務局体制強化のため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	・新規採用職員の研修を通して基礎的知識の修得に努めたほか、今年度新たに事務部門内でモーニングセミナーを6回開催し、病院組織・医事・契約事務等の専門性向上に努めた。 ・事務職員の専門性向上のため、事務職員資格取得支援制度を活用し、令和6年度は診療情報管理士に1名合格し、新たに通信教育(診療情報管理士)の受講を3名が開始した。 ・医師事務作業補助者のキャリアパスプランを策定し、必要なスキルや目標を明確にするとともに個人のスキルに応じた教育・支援体制を構築した。		A	自己評定のとおり	В	В

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評定		前年度 計画 法人にお
中朔計画(节相0年度)	17和0年度前團	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
ウ職員の勤務環境の改善							
① 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進、柔軟な勤務形態の導入・活用等を図る。 【目標】法人全体 目標とする指標 医師の時間外労働規制 毎年度A水準	① 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進、柔軟な勤務形態の導入・活用等を図る。 【目標】法人全体 日標とする指標 目標 医師の時間外労働規制 A水準	・医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、麻酔アシスタント・特定行為研修修了者等の積極的な活用の推進によるタスクシフト・タスクシェアを図り、全医師がA水準を達成した。また、時差出勤等の活用を推進し、柔軟な勤務形態の環境整備に努めた。 ・目標とする医師の時間外労働規制について、達成することができた。 【実績】医師の時間外労働規制(日本海総合病院) 日標値 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 A水準 A水準 ○	A	A	自己評定のとおり	A	A
		 ・職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施した。ストレスチェックに加え、長時間労働者については産業医面談を実施し職員の健康維持に努めた。 ・ハラスメント研修として「カスタマーハラスメント」についてを実施し、50名の参加、Web受講509名とハラスメント対策の充実を図った。 【実績】ストレスチェックの受診状況(日本海総合病院) 区分令和3年度令和4年度令和5年度令和6年度実施率91.10%89.50%79.00%79.40% 					
業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応		・介護や子育で等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の 24 時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努めた。 【実績】医師短時間職員制度等利用状況 区分令和3年度令和4年度令和5年度令和6年度医師短時間3名3名3名2名3名育児部分休業0名1名2名4名育児短時間勤務1名1名1名0名71名でビーシッター等助成金0名0名1名1名1名1名20日本に対しています。					
④ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	④ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等 により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	・病棟、外来及び文書作成に医師事務作業補助者を下記のとおり配置し、医師をは じめとする各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に務めた。 【実績】医師事務作業補助者配置数 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 70名 76名 79名 79名					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価 設立団(
T WILL CHILD THE THICK	PARO TAXALLE	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	法人にお ける自己 評価	
(3)医療サービスの効果的な提供								
ア 地域連携の推進								
向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリの推進、参加法人間の人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護・福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提	向けて、地域医療連携推進法人「日本海へルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリの推進、参加法人間の人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介	・地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。	S	S	自己評定のとおり	S	S	
	② 医師派遣、地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」をはじめとしたICTの活用等により、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。	・地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、 山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきた ハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。全国的な取り組みで ある全国ID-LinkEHRに参加し、参加している国内の医療機関と連携できる基盤を構築した。 【実績】ちょうかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数						
		令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 41件 48件 55件 88件 【実績】ちょうかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数(主要コンテンツ別) コンテンツ 令和3~6年度合計 処方(指示) 11件 注射(指示) 4件 検査 14件 画像(指示) 51件 レポート 11件 画像一覧(画像の参照) 118件 ノート(記録) 23件						
② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力 医登録制度の活用等により、かかりつけ医への紹介等連携を 図る。		・地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度を活用し、医療福祉センターの逆紹介サポート窓口において、社会福祉士が患者と面談し逆紹介について相談できる体制を構築するなど、かかりつけ医への紹介等連携を図った。 【実績】紹介率、逆紹介率(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 名介2 今 62.4% 67.8% 70.9% 70.3%	A	Α	自己評定のとおり	S	S	
【目標】日本海総合病院 目標とする指標 目標値 紹介率 毎年度65%以上 逆紹介率 毎年度95%以上 (注)紹介率=(紹介患者数/(初診患者数-救急患者数))×100 (注)逆紹介率=(逆紹介患者数/初診患者数)×100	【目標】日本海総合病院 日標とする指標 目標値 紹介率 65%以上 逆紹介率 95%以上 (注)紹介率=(紹介患者数/(初診患者数-救急患者数))×100 (注)逆紹介率=(逆紹介患者数/初診患者数)×100	逆紹介率 97.1% 97.0% 98.2% 99.2% • 目標とする紹介率及び逆紹介率の目標値については、上回ることができた。 【実績】紹介率、逆紹介率(日本海総合病院)						

中型型(A和C在在 A和C在在)		法人における自己評価			設立団体による評別	 , 定	前年度計画
中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	? 評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	→ 法人にお ける自己 評価
イ 診療情報の共有化、地域クリティカルパスの活用							
促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉	促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉	用・地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進を図ったことから、前年度と比べ登録患者が6,003名増加した。	A	А	自己評定のとおり	А	А
		【実績】登録患者数等 区 分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 登録患者数 55,131名 60,650名 66,457名 72,460名 開示施設数 8施設 8施設 8施設 6施設 閲覧施設数 237施設 249施設 264施設 268施設					
	ルパスの活用を推進する。	・効率的で適切な医療を提供するため、患者への負担軽減及び他の医療機関との機能分担を図りながら、地域連携クリティカルパスを継続して活用した。 ・地域連携クリティカルパスの運用により、他の医療・介護福祉機関と連携し支援を行った。					
		【実績】地域連携クリティカルパス適用件数(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 大腸がん 24件 11件 1件 16件 乳がん 7件 8件 9件 1件					
		胃がん 15件 9件 0件 0件 大腿骨近位部骨折 102件 88件 99件 100件 脳卒中 183件 165件 172件 168件 前立腺がん 5件 0件 2件 0件					
ウ 医療DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進							
療DXの推進により医療の質の向上、患者の利便性向上、働き	・療安全の向上を図りつつ、これらの取り組みを普及拡大し、医療データの利活用を推進する。	・マイナ保険証の利用促進のため、再来受付機のうち3台を顔認証付きカードリーダーと連携し、マイナ受付と同時に再来受付が行えるように改修した。 ・医療費助成のオンライン資格確認及び救急時医療情報閲覧機能を導入し、医療データの利活用を推進した。 ・医師のHPKIカード取得の推進を図り、電子処方箋の利用を促進することで地域の医療安全向上に努めた。	A	Α	自己評定のとおり		
		区分 令和5年度 令和6年度 マイナ保険証利用件数 6,227件 92,262件 電子処方箋発行枚数 48,858件 69,656件					
		I・医療・介護・福祉連携の推進を図るため、酒田市と協働して、医療・介護情報共有サービス「Team」を導入し、酒田市の医療機関・介護施設など147施設が参加した。				'	
		【実績】「Team」参加施設数 診療所 22施設 訪問介護(ヘルパー) 7施設 グループホーム 10施設 病院 6施設 訪問リハビリ 2施設 特別養護老人ホーム 9施設 居宅介護支援 24施設 デイサービス・デイケア 18施設 介護老人保健施設 5施設 地域包括支援センター 10施設 ショートステイ 6施設 その他 14施設 訪問看護 8施設 小規模多機能型居宅介護 6施設 計 147施設	- - -				

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評別	Ē	前年度 計画 法人にお
不利的四(1)和6年及 1)和6年度/	13410千及計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	
(4)教育研修事業の充実							
ア 庄内地域における医療水準の向上							
庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。さらに、救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。 ② 救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	・住内地域における医療水準の向上に寄与するため、臨床研修医及びレジデントの受入れ並びに山形大学からのスチューデントドクター及び東北大学や自治医科大学からの地域医療実習生を継続して受入れ、質の高い医療従事者の育成に努めた。 【実績】臨床研修医等の受入れ状況(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 第2名 28名 27名 28名 28名 28名 28名 28名 28名 28名 28名 28名 28		A	自己評定のとおり	A	A

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評別	Ė	前年度 計画 法人にお
1 州山口(191100千及)	7.110千及町目	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】 自己評		評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
イ 住民意識の啓発活動							
住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や、ウェブサイト及び広報誌「あきほ」等の活用により、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報や医療等に関する情報を分かりやすく提供する。 【目標】法人全体	② ウェブサイト及び広報誌「あきほ」等を活用し、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報や医療等に関する情報を分かりやすく提供する。	・住民の健康意識の向上のため、住民を対象としたセミナーとして、生涯学習施設「里仁館」が主催した健康講座に職員を派遣し、関係機関と連携し、啓発活動に努めた。 【実績】健康講座(開催場所:酒田市総合文化センター) 開催日 内容等 参加人数 令和6年6月5日 『熱中症について』 救命教急センター長 陳 正浩 16名 参加6年7月3日 『当院での心臓血管外科診療』 18名 診療部長(兼)心臓血管外科部長 金 哲樹 18名 ・ 地域住民を対象に市民公開講座を開催し、がんに関する情報提供を行った。 【実績】がん診療連携拠点病院公開講座(開催場所:ホテルリッチ&ガーデン酒田) 開催日 内容等 参加人数 がんは薬で治る時代へ 科学的がん免疫療法 昭和大学医学部 角田 卓也 氏 ・それぞれの病院や診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供するため、ホームページでの病院情報の発信や病院広報誌「あきほ」の発行により、地域住民に分かりやすく、かつ幅広い情報発信を行った。		В	自己評定のとおり		
	【目標】法人全体 目標とする指標 目標値 病院広報誌発行回数 4回以上	【実績】病院広報誌発行回数 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 4回 4回 4回 ・目標とする病院広報誌発行回数については、目標値どおり発行することができた。 【実績】病院広報誌発行回数 目標値 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 4回以上 4回 〇 日					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価			設立団体による評算	È	前年度 計画 法人にお
于两时凹(时和O千皮·时和3千皮)	日和○千及計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	がる自己 ける自己 評価
3 患者・住民の満足度の向上							
患者満足度調査等を実施し、院内環境等の快適性の向上、患者サービス向上に向けた取組を行う。 【目標】日本海総合病院 日標とする指標 目標値 入院患者満足度 毎年度96%以上 外来患者満足度 毎年度96%以上 (注)入院患者満足度 毎年度96%以上 (注)入院患者満足度(満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数(満足+ほぼ満足)/患者満足度の有効回答数(入院))×100満足度の有効回答数(入院))×100 (注)外来患者満足度(満足のいく治療を受けたと回答した外来患者数(満足+ほぼ満足)/患者満足度の有効回答数(外来))×100	者サービス向上に向けた取組を行う。 【目標】日本海総合病院	・患者サービス向上に向け、患者アンケート調査を実施し患者の声を適切に把握するとともに、患者サービス向上の一助とするため、職員満足度調査を実施した。そのほかにも、外来待ち時間調査の実施や、「医療接遇マナーの心得」の周知を行った。・院内のWi-Fiを整備し、院内環境の快適性の向上に努めた。 ・目標とする患者満足度については、入院患者満足度のみ目標値を超えることができた。 【実績】患者満足度(日本海総合病院) 目標値 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 入院患者満足度 98.9% ○ 外来患者満足度 95.7% ×	В	В	自己評定のとおり		
4 法令等の遵守と情報公開の推進	I						
	と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組	・職員研修において、法令及び倫理綱領並びに業務執行等におけるコンプライアンスの内容を周知するとともに、法令遵守、職務遂行を就業規則に規定し院内イントラネットで常時周知するなど、職員に対して周知徹底に取り組んだ。	В	В	自己評定のとおり	В	В
人規程に基づき、また文書管理については、山形県公文書等	人規程に基づき、また文書管理については、山形県公文書等	・医療情報の開示については、インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び法人規程に基づき、県の機関に準じて適切に行った。 【実績】診療情報提供申出件数(日本海総合病院)					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画		法人における自己評価				設立団体による評	F定	前年度 計画 法人にお
中期計画(中和0年度で中和9年度)	サ和以中及計画	【計画の	の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】		自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己評価
5 医療安全対策の充実・強化									
(1)医療事故等の防止									
住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	を2回行った。診療報研修会を行い、病院: ・開催方法についてに ングによる動画配信: い、多くの職員が受認	弱酬改定にあわせた研修や医療安全の更なる推進を目に 全体の医療安全の強化を図った。 よ、開催当日の集合研修のほかに、未受講者に対してe を行った。未受講者に対しては、定期的に受講の呼びか 構できるよう取り組んだ。	的とした ラーニ	В	В	自己評定のとおり	В	В
		【実績】医療安全研修会() 開催日		参加人数					
		令和6年11月20日	第1回 身体拘束最小化チーム医療安全全体研修会 『当院の身体拘束の実施状況、身体拘束最小化のための指針、身体 拘束の運用』 看護部 医療安全管理者 冨澤晴美 看護部 脳卒中リルビリテーション看護認定看護師 杉山貴子 看護部 老年看護専門看護師 五十嵐千里 『死亡診断書お渡しまでの留意事項について』 医事課 診療支援係 主任 佐藤悦子	1,163名					
		令和6年12月19日	第2回 クリニカルパス・医療安全全体研修会 『レジリエンス向上を目指したクリニカルパスの運用 〜医療安全と質保証に生かすために〜』 山梨大学大学院 総合研究部医学域 臨床医学系 特任教授 小林 美亜 氏	1,155名					
【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 目標とする指標 目標値 医療安全対策に係る研修 毎年度2回以上	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 目標とする指標 目標値 医療安全対策に係る研修 2回以上	交わし、互いの医療 【実績】医療安全地域連携 開催日 令和6年10月17日 令和6年11月21日 令和7年3月4日 令和7年3月4日 (実績】院内感染対策研修 開催日 令和6年8月19日 令和6年11月18日 【実績】医療安全研修会 開催日 令和7年3月11日	研修内容等 第1回院内感染対策研修会 「感染対策の概論・総論、当院の抗菌薬使用状況」 対面・動画配信 第2回院内感染対策研修会 「感染対策と感染症治療の心構え」 対面・動画配信 (日本海酒田リハビリテーション病院) 研修内容等 参加 第1回 医療安全研修会 転倒予防のために 「動きやすい介助方法の検討と実践」	参加人数 1,159名 1,168名 人数 104名					
		ナー 【実績】医療安全対策に係る所 目標値 区 2回以上 日本海総	第2回院内感染対策研修会・動画配信 病棟における感染症患者発生時の対応 全対策に係る研修については、目標値どおり実施するこ	104名 129名 とでき					

+ ### Tr / A In a fr (# . A In a fr (#)	A foots to all Tax	法人における自己評価			設立団体による評別	 定	前年度計画
中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	法人における自己評価
(2)情報セキュリティ対策の強化							
	ガイドライン等を踏まえ、職員教育等による適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化に努める。	・厚生労働省が定める医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化を図るため、全職員に向けたe-ラーニング研修を実施し、地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」に新規参加する介護事業者及び新たに利用開始するユーザーに対して、対面でのセキュリティ研修会を実施した。	В	В	自己評定のとおり		
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 組織マネジメントの強化、災害発生時の業務継続性の確保							
略会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のあり	略会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。	 ・運営委員会、診療部運営会議、業務改善委員会、経営戦略会議等の定期的な開催を通して、内部統制の推進を図った。 ・自律性のある効率的な業務運営を行うため、医療費未収金集金業務及び旅費の支給状況に係る会計監査を実施した。 ・目標とする内部監査の項目数については、目標値どおり実施することができた。 【実績】内部監査 目標値 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 2項目以上 	A	A	自己評定のとおり	A	A
が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。	が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。 ③ サイバー攻撃を想定したBCPを策定し、万が一、セキュリティインシデントが発生しても速やかに回復できるようマネジメ	・災害発生時等において、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、B CP(事業継続計画)に基づき業務の継続性を確保できるよう、災害対策マニュアル・BCPマニュアル等の見直しを行った。 J・サイバー攻撃を想定した情報システムBCPを策定し、マネジメント体制を整備した。メ・サイバーインシデント対応についてBCPに沿った机上訓練を実施し、課題が見つかった箇所についてBCPの改訂を行い、業務の継続性の確保に努めた。					
2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用							
体制の適正化を図るとともに、適切かつ弾力的な医療従事者	体制の適正化を図るとともに、適切かつ弾力的な医療従事者	・地域の医療ニーズ等の変化に迅速かつ的確に対応するため、定期的な人事異動により適材適所の配置に努めるとともに、時差出勤制度を導入し多様な勤務形態を活用することで、診療体制の適正化を図った。		В	自己評定のとおり	В	В
3 業務の効率化、職員の意欲向上							
への対応を適切に行い、業務の効率化に努める。また、各業 務においては、業務負担軽減に繋がるようタスクシフト・タスク	への対応を適切に行い、業務の効率化に努める。また、各業 務においては、業務負担軽減に繋がるようタスクシフト・タスク	・各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、 業務の効率化に努めた。 ・各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等に努めた。 【実績】業務改善委員会(日本海総合病院) 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 新規提案 33件 15件 21件 34件 終了 27件 19件 18件 20件	A	A	自己評定のとおり	A	A
ことで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を	ことで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を	・職員の能力や経験を適切に評価し、昇任に反映させ意欲向上を図るとともに、将来 の病院経営を担う人材を育成するため、リーダーシップを発揮できる人材の育成を 行った。	<u> </u>				

山期計画(会和6 年度∼会和9年度)	経営基盤の安定化 1)収入の確保)診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応す がため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等 に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。 「実績]令和6年6月~年度を対し、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。	法人における自己評価			設立団体による評別	Ė	前年度 計画 法人にお
中朔山區(日和O平及·日和3平及)	□和□平及計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	ける自己
4 経営基盤の安定化							
(1)収入の確保							
るため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。 【目標】法人全体 日標とする指標 日標 DPC特定病院群適用 中期計画 期間中継続 ② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、ま	るため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。 【目標】法人全体 日標とする指標 目標 中期計画 中期計画 期間中継続 ② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、ま	準の取得や見直しを行い、増収を図った。 【実績】令和6年6月~令和7年3月 区分 金額 新規施設基準取得による増収額 113,042,140円 ※ベア評価料を含む新規で届出したもの ※新規であっても、急性期充実体制加算1等のように再編されたもの、特定集中6・ハイケア1のように別の特定入院料に変更したものは除く。 ・日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和6年度のDPC特定病院群が適用となった。また、収益の確保を図るため経営戦略会議にて要件の確認及び報告を行い、データ解析を進めた後、運用改善を院内の関係部署と連携しながら実施した。 ・目標とするDPC特定病院群適用については。目標値どおり継続となった。 【実績】DPC特定病院群適用(法人全体) 目標値 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 中期計画期間中 継続 ○	A	A	自己評定のとおり	A	A
た、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に 努める。	た、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に 努める。	サービスを導入し、支払い方法を増やすことで患者の利便性を向上させ未収金の発生防止に努めた。 ・未収金回収業務においては、定期的な電話連絡や集金業務に加え、委託業者とも 連携し早期回収に努めた。					
(2)費用の抑制							
や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラリの推進を図り、後発医薬品及びバイオシミラーの使用促進に努める。 【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 目標とする指標 目標値後発医薬品数量シェア率 毎年度85%以上	準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラリの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努める。 【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 日標とする指標 日標値 後発医薬品数量シェア率 85%以上 (注)後発医薬品数量シェア率-(後発医薬品/(後発医薬品のある先発医薬品+後発医薬品)×100	 ・医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により人件費の適正化に努め、材料費についても、収益の状況を把握しながら費用削減に努めた。また、医薬品については、地域フォーミュラリの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努めた。 【実績】後発医薬品数量シェア率	Α	A	自己評定のとおり	A	Α

中期計画(令和6年度~令和9年度)								設立団体による評定			前年度 計画 法人にお
平利田區(1440平及 13440平度)	は他の十及前四	【計画	【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】						評価	前年度計画の類 似項目の評定	
第4 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画	第3 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画										
効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の経常収支比率、修正営業収支比率及び純資産額の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。 【目標】法人全体 日標とする指標 目標値経常収支比率 毎年度100%以上修正営業収支比率 毎年度95%以上純資産額 毎年度95%以上終済産額 年度前年度の額以上 (注)経常収支比率(医業収益/営業費用)×100 (注)修正営業収支比率(医業収益/営業費用)×100 中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1~3のとおり見込むこととする。また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計	効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状	適た () () () () () () () () () (情報共有等を図った基本の表別である。 本本、法人全体のの表別である。 本本、学年のでは、法人全体のの表別である。 本本のでは、大学を表別である。 では、大学を表別では、大学を表別である。 では、大学を表別である。 では、大学を表別である。 では、大学を表別である。 をは、大学を表別である。 では、大学を表別である。 をは、大学を表別である。 では、大学を表別である。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、大学を表別でする。 をは、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、	た。)資金収支の 法人全体) 度 令和4年度 106.7% 97.0% 29,736 翻について目 とができた。 本) 年度 令和7:	均衡や短期借 を 令和5年度 102.4% 97.3% 30,306 目標値には届か 注度 令和84 26,256 24,974 23,481 1,493 224 36 188 17 1,041 564 370 107	令和6年度 99.6% 95.6% 30.186 50 なかったが、修 年度 令和9年度 (単位:百万円) 差額 (決算 - 予算) △ 47		B	自己評定のとおり	A	A
			成 及 資 明借 入 金 返 還 金	1,122	1,122	0					
		奨学	全金貸付)他	7	7	0 △ 1					
			/吧 処理をしているため、合計	 - 対が	-						

中期計画(令和6年度~令和9年度) 令和6年度計画 別表 2 収支計画 (単位:百万円) 区 分 下算額 (当初) 決算額 (決算 - 予算) (2 分 (3 初) (次第 - 予算) 収入 25, 759 25, 523 △ 216 営業収益 23, 692 23, 436 △ 256	評 価 前年度計画の類 似項目の評定	上 法人における自己
(単位:百万円) 区分 予算額 (当初) 決算額 (決算 - 予算) 収入 25,985 25,769 △ 216 営業収益 25,759 25,523 △ 236 医業収益 23,692 23,436 △ 256		評価
別が他の日本地位の		高半1曲

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		前年度計画			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	法人にお ける自己 評価
第5 短期借入金の限度額	第4 短期借入金の限度額						
1 限度額 4,000百万円	1 限度額 4,000百万円	・短期借入金の実績なし		S	自己評定のとおり	S	S
2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応						
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画							
なし			_	_		_	_
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、 その計画							
なし			<u> </u>	_		_	_
第8 剰余金の使途	第5 剰余金の使途						
決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。		Α	自己評定のとおり	А	Α
第9 料金に関する事項	第6 料金に関する事項						
1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に 掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の 確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法 (平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定し た額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定め るところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部そ の他の団体等との間における診療契約によるものにつ いては、その契約の定める額	掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の 確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法 (平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定し た額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定め るところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部そ の他の団体等との間における診療契約によるものにつ いては、その契約の定める額	・料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。・計画に記載の契約等による額とした。	В	В	自己評定のとおり	В	В
イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めたときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めたときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	・該当なし					

中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価					設立団体による評定			
1799日日(1740年及) 1740年及日巴			【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】				評定	評価	前年度計画の類 似項目の評定	法人にお ける自己 評価
第10 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項									
1 医療機器・施設整備に関する事項	1 医療機器・施設整備に関する事項									
ニーズ、他機関との機能分担、医療技術の進展等を総合的に 判断し、費用の抑制に努めながら実施する。また、現有医療機器・施設を適正に管理し長寿命化に努める。 日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市との協議に基づき医療機器・施設整備を図る。	機関との機能分担、医療技術の進展を総合的に判断し、費用の抑制に努めながら整備する。	他・医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分化、医療 技術の進展等を総合的に判断し、母体胎児監視システム、電動ベッドの更新や、手 術器具等の整備し、適切な医療の確保に努めた。				Α	Α	自己評定のとおり	А	А
	② 施設整備については、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと、施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また、日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市との協議に基づき医療機器・施設整備を図る。									
	プログル 地区 正開 と 口 る。	【実績】修繕工事(日本海総合病院)								
		工事名 工事名 非常用発電機改修工事		契約額(円) 既存棟(エネルギー札 17,600,000 またい サール・サール 17,600,000	概 要 (また)に設置の非常用発電機のメーカー	1				
				一部品对应期间办路值	している部品等を更新した。 害により劣化している空調機2基を更新					
		空調機ユニット更新工事		0/20	り劣化しているファンコイルユニット43					
		ファンコイルユニット交換工事		29,150,000 台を更新した。						
		空冷式エアコン更新工事	I .	27,863,000 耐用年数の超過によび室外機を更新した。	り劣化している南棟のエアコン部品及					
		エレベーター更新工事	1	16,600,000 メーカー部品対応期 機)した。	間が超過している部品等を更新(4・5号					
		施設整備を行った。	b整備状況(E	こついては、酒田市と協 日本海八幡クリニック等診別 内容	議を行いながら医療機器・					
		令和3年度 2件	八幡:」	血圧脈波測定装置更新						
				電子カルテ導入 電子カルテ導入						
		令和5年度 5件	各診療	₹所: 医療機器更新等						
		令和6年度 7件 各診療所: 医療機器更新等								
	等の検討及び整備等を図る。	・庄内地域における急速な人口減少・少子高齢化や地域医療構想等を踏まえ、病床40床廃止し最適な規模に見直しすることで病院機能の効率的な運用を図った。・「すこやかレディースクリニック」との不妊治療の集約化に伴い、庄内地域唯一の生殖補助医療の提供体制を構築した。								
償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計		投 負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行った。								
		【医療機器・施設整		(単位:百万円)						
		区 分 資本支出		実績財源						
		建設改良費 施設整備 医療機器等		1,553 918 635 設立団体から 長期借入金等						

							前年度
中期計画(令和6年度~令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価	設立団体による評定				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	法人にお ける自己 評価
2 法人が負担する債務の償還に関する事項							
3 積立金の使途	2 積立金の使途						
前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修 繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成 及び能力開発の充実等に充てる。		・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。	В	В	自己評定のとおり	В	В
	3 その他法人の業務運営に関する事項						
等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実	等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実 を図る。	・酒田市・公益財団法人やまがた健康推進機構および診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診実施体制の充実を図った。 ・酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し実施した。酒田市の内視鏡ドックと併せ、PET/CT検査の受診促進のため、市民に周知した。 【実績】内視鏡ドック、PET/CT検診	В	В	自己評定のとおり	В	Ш
協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ	協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、 また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ 及び保育園等からの送迎サービスを行う。	・病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」により三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29~1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。また、定員9名とし当日予約の受入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。 【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度利用者数 542名 396名 616名 511名 55職員利用者数 235名 167名 228名 153名 【実績】受診付添サービス等利用者 区分 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 受診付添サービス 3名 0名 5名 1名 病児送迎サービス 1名 1名 0名 3名	0	В	自己評定のとおり	В	В
		S:計画を大幅に上回っている(目標数値110%超) A:計画を上回っている(目標数値100%超110%以下) B:計画に概ね合致している(目標数値90%超100%以下) C:計画をやや下回っている(目標数値60%超90%以下) D:計画を下回っており、大幅な改善が必要(目標数値60%以下)	9 22 14 0 0	9 22 14 0 0		7 20 13 0 0	7 20 13 0 0